



## 平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年2月13日

上場取引所 東

上場会社名 日本ヒューム株式会社

コード番号 5262 URL <http://www.nipponhume.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 野村 静夫

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長

(氏名) 石井 孝雅

TEL 03-3433-4113

四半期報告書提出予定日 平成24年2月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	20,190	9.2	872	△4.3	839	△21.9	493	△20.5
23年3月期第3四半期	18,491	△16.8	911	△35.9	1,075	△37.6	620	△28.1

(注) 包括利益 24年3月期第3四半期 575百万円 (△26.4%) 23年3月期第3四半期 781百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
24年3月期第3四半期	18.86	—
23年3月期第3四半期	23.29	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第3四半期	35,692	21,694	60.4
23年3月期	35,025	21,400	60.8

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 21,572百万円 23年3月期 21,286百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
23年3月期	—	—	—	10.50	10.50
24年3月期	—	—	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	26,000	3.2	950	△19.4	1,200	△5.8	700	0.6	26.76

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

24年3月期3Q	29,347,500 株	23年3月期	29,347,500 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

24年3月期3Q	3,197,665 株	23年3月期	3,188,499 株
----------	-------------	--------	-------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期3Q	26,152,379 株	23年3月期3Q	26,645,500 株
----------	--------------	----------	--------------

#### ※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ですが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しています。

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信【添付資料】P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書 .....	6
四半期連結包括利益計算書 .....	7
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	8
(4) 追加情報 .....	8
(5) セグメント情報等 .....	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間における日本経済は、昨年3月の東日本大震災、福島第一原子力発電所事故の影響から徐々に立ち直る兆しが見られた一方で、ユーロ圏各国の信用不安や、米国の景気低迷による歴史的な円高等の不安要素も多く、先行き不透明な状況が続きました。

当社関連のコンクリート製品業界は、国内の建設投資が低調に推移していることから、当社グループを取り巻く経営環境は大変厳しい状況となっております。

このような状況下で当社グループは、現中期経営計画『NHC-2 (two) 計画』の最終年度にあたる当第3四半期連結累計期間におきましても、グループを挙げて目標達成に向けて鋭意取り組んでまいりました。その結果、建設需要が引き続いて低迷する状況にあって受注の確保に注力したことから、当第3四半期連結累計期間の受注高は前第3四半期連結累計期間と比べ17.6%増加の216億61百万円、売上高は前第3四半期連結累計期間と比べ9.2%増加の201億90百万円となりました。

損益につきましては、グループを挙げてコスト削減等に努めましたが、原材料価格の高止まりや、工事単価の下落等により営業利益は前第3四半期連結累計期間と比べ4.3%減少の8億72百万円となり、持分法適用関連会社の赤字に伴い持分法投資損益が大きく悪化したこと等により経常利益は前第3四半期連結累計期間と比べ21.9%減少の8億39百万円、四半期純利益は前第3四半期連結累計期間と比べ20.5%減少の4億93百万円となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

## ①コンクリート製品事業

コンクリート製品事業におきましては、需要が低迷する状況下で受注の確保に努めたことから、当第3四半期連結累計期間の受注高は前第3四半期連結累計期間と比べ34.0%増加の151億2百万円、売上高は前第3四半期連結累計期間と比べ13.8%増加の136億53百万円となり、セグメント利益（営業利益）は前第3四半期連結累計期間と比べ3億22百万円改善し、2億16百万円となりました。総売上高構成比は67.6%であります。

## ②工事業

工事業におきましては、下水道関連工事の受注が減少したこと等によって、当第3四半期連結累計期間の受注高は前第3四半期連結累計期間と比べ8.8%減少の63億77百万円となりましたが、売上高につきましては、コンクリート製品関連工事が寄与し、前第3四半期連結累計期間と比べ3.9%増加の53億28百万円となりました。しかしながら工事単価が下落しており、セグメント利益（営業利益）は前第3四半期連結累計期間と比べ35.0%減少の2億88百万円となりました。総売上高構成比は26.4%であります。

## ③不動産開発事業

不動産開発事業におきましては、賃貸用不動産収入が堅調に推移したことから、当第3四半期連結累計期間の売上高は前第3四半期連結累計期間と比べ2.0%増加の8億81百万円となりましたが、賃貸物件の大規模修繕の実施等によって、セグメント利益（営業利益）は前第3四半期連結累計期間と比べ17.5%減少の3億44百万円となりました。総売上高構成比は4.4%であります。

④その他

その他につきましては、環境関連機器の販売が比較的堅調に推移したこと等により当第3四半期連結累計期間の受注額は前第3四半期連結累計期間と比べ15.5%増加の1億81百万円となりましたが、下水道関連工事用機材のレンタル事業が低調に推移したこと等により売上高は前第3四半期連結累計期間と比べ34.6%減少の3億26百万円、セグメント利益（営業利益）は前第3四半期連結累計期間と比べ85.2%減少の22百万円となりました。総売上高構成比は1.6%であります。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末の総資産は前連結会計年度末と比べ6億67百万円増加し、356億92百万円となりました。これは、流動資産において受取手形及び売掛金が11億99百万円増加したこと等によります。

また、負債の部は前連結会計年度末と比べ3億73百万円増加し、139億97百万円となりました。これは、流動負債において支払手形及び買掛金が5億48百万円増加した一方で、未払法人税等が1億53百万円減少したこと等によります。

純資産の部は前連結会計年度末に比べ2億94百万円増加し、216億94百万円となりました。これは利益剰余金が2億14百万円増加したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年3月期の業績見通しにつきましては、平成23年5月13日付「平成23年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）」で発表した通期の業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年 3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,657,841	4,480,871
受取手形及び売掛金	9,394,185	10,593,462
商品及び製品	1,652,912	1,722,805
原材料及び貯蔵品	343,437	382,922
その他	382,864	698,203
貸倒引当金	△52,389	△18,378
流動資産合計	17,378,852	17,859,888
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,647,166	3,481,749
土地	3,607,374	3,597,621
その他(純額)	981,928	815,195
有形固定資産合計	8,236,469	7,894,566
無形固定資産		
投資その他の資産	97,988	103,048
投資有価証券	8,803,761	8,735,873
その他	574,618	1,161,376
貸倒引当金	△66,455	△62,043
投資その他の資産合計	9,311,924	9,835,206
固定資産合計	17,646,383	17,832,822
資産合計	35,025,235	35,692,710
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,348,437	7,897,177
短期借入金	1,603,363	1,503,799
未払法人税等	290,434	137,159
賞与引当金	147,508	—
その他	755,784	1,184,936
流動負債合計	10,145,528	10,723,072
固定負債		
退職給付引当金	1,622,025	1,684,368
役員退職慰労引当金	132,297	129,987
環境対策引当金	24,797	24,797
その他	1,700,225	1,435,684
固定負債合計	3,479,345	3,274,837
負債合計	13,624,874	13,997,910

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年 3 月31日)	当第 3 四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,251,400	5,251,400
資本剰余金	4,703,406	4,703,406
利益剰余金	11,038,296	11,253,252
自己株式	△796,701	△798,955
株主資本合計	20,196,400	20,409,102
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	302,458	256,417
為替換算調整勘定	787,995	906,769
その他の包括利益累計額合計	1,090,454	1,163,186
少数株主持分	113,505	122,510
純資産合計	21,400,361	21,694,799
負債純資産合計	35,025,235	35,692,710

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
売上高	18,491,567	20,190,744
売上原価	14,927,760	16,748,889
売上総利益	3,563,807	3,441,855
販売費及び一般管理費	2,652,391	2,569,293
営業利益	911,416	872,562
営業外収益		
受取利息	6,139	469
受取配当金	58,391	88,474
受取技術料	37,850	50,508
持分法による投資利益	249,661	—
その他	83,919	65,346
営業外収益合計	435,962	204,798
営業外費用		
支払利息	24,442	20,945
為替差損	210,433	169,481
持分法による投資損失	—	7,854
その他	36,996	39,089
営業外費用合計	271,872	237,371
経常利益	1,075,506	839,988
特別利益		
固定資産売却益	217	—
持分変動利益	19,170	—
貸倒引当金戻入額	13,784	—
受取保険金	—	10,748
その他	3,987	504
特別利益合計	37,159	11,252
特別損失		
固定資産売却損	5,551	—
減損損失	—	696
固定資産除却損	5,281	1,306
環境対策引当金繰入額	24,797	—
その他	1,200	—
特別損失合計	36,830	2,003
税金等調整前四半期純利益	1,075,835	849,238
法人税、住民税及び事業税	422,705	394,708
法人税等調整額	21,498	△47,751
法人税等合計	444,204	346,956
少数株主損益調整前四半期純利益	631,631	502,282
少数株主利益	11,028	9,012
四半期純利益	620,602	493,269



四半期連結包括利益計算書  
第 3 四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第 3 四半期連結累計期間 (自 平成22年 4 月 1 日 至 平成22年12月31日)	当第 3 四半期連結累計期間 (自 平成23年 4 月 1 日 至 平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	631, 631	502, 282
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	27, 327	△150, 577
為替換算調整勘定	144, 332	118, 774
持分法適用会社に対する持分相当額	△21, 803	104, 535
その他の包括利益合計	149, 856	72, 732
四半期包括利益	781, 487	575, 014
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	770, 459	566, 001
少数株主に係る四半期包括利益	11, 028	9, 012

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 追加情報

①会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用

第 1 四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月 4 日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月 4 日)を適用しております。

②法人税等の変更等による影響

平成23年12月 2 日に「経済社会の構造の変化に対応した税制の構築を図るための所得税法等の一部を改正する法律」(平成23年法律第114号)及び「東日本大震災からの復興のための施策を実施するために必要な財源の確保に関する特別措置法」(平成23年法律第117号)が公布され、平成24年 4 月 1 日以降開始する事業年度より法人税率が変更されることとなりました。これに伴い、繰延税金資産及び繰延税金負債の計算に使用される法定実効税率は、一時差異等に係る解消時期に応じて以下のとおりとなります。

平成24年 3 月31日まで 41.00%

平成24年 4 月 1 日から平成27年 3 月31日 38.00%

平成27年 4 月 1 日以降 36.00%

この税率の変更により繰延税金負債の純額が111,373千円減少し、当第 3 四半期連結累計期間に費用計上された法人税等調整額の金額が88,312千円減少しております。

## (5) セグメント情報等

## I 前第3四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額	四半期連 結損益計 算書計上 額(注) 2
	コンクリ ート製品事業	工事業	不動産開発 事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	11,998,461	5,129,281	864,054	17,991,797	499,770	18,491,567	—	18,491,567
セグメント間の内部 売上高又は振替高	8,225	—	21,973	30,198	6,170	36,368	△36,368	—
計	12,006,686	5,129,281	886,028	18,021,995	505,940	18,527,936	△36,368	18,491,567
セグメント利益又は 損失(△)	△105,688	443,627	418,216	756,155	155,261	911,416	—	911,416

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、スポーツ施設運営事業、環境関連機器販売事業、リース事業等を含んでおります。

2 セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当第3四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額	四半期連 結損益計 算書計上 額(注) 2
	コンクリ ート製品事業	工事業	不動産開発 事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	13,653,978	5,328,472	881,488	19,863,938	326,805	20,190,744	—	20,190,744
セグメント間の内部 売上高又は振替高	14,261	—	26,763	41,024	6,341	47,366	△47,366	—
計	13,668,239	5,328,472	908,251	19,904,963	333,147	20,238,111	△47,366	20,190,744
セグメント利益	216,487	288,264	344,860	849,612	22,949	872,562	—	872,562

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、スポーツ施設運営事業、環境関連機器販売事業、リース事業等を含んでおります。

2 セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。